一般社団法人 日本オオカミ協会

オオカミの日 8/25 記念

オオカミ展 2018 下田

今、日本の自然は大荒れ！　シカの増え過ぎが元凶。イノシシもサルも。それにハクビシン、タヌキ、アライグマ・・・。クマやいろいろな外来種も加わって、日本の野生生物界は大混乱。植物は食い荒らされて禿山となり、風雨にさらされて山崩れさえ起きています。
これを防ぐのは私たちオオカミ以外にはいないのです。
8 月 25 日は『オオカミの日』：明治時代に絶滅に追いやられたオオカミの役割の大切さを思い起こし、その復活を皆さんと考えます。

2018. 8. 24（金）～28（火）

10：30 ～ 16：00

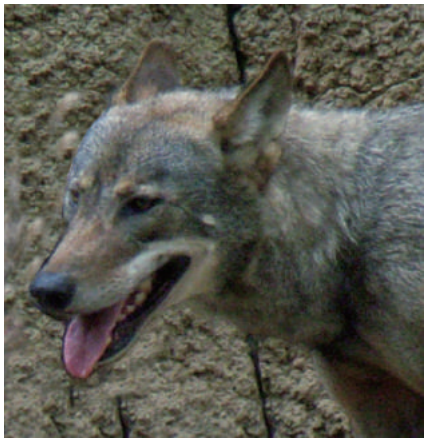
会　場　**下田市旧澤村邸**
静岡県下田市三丁目 16-10

入場料　**無料**

絶滅したオオカミの復活で
伊豆の森と海の生態系を守る！

〔主催〕一般社団法人 日本オオカミ協会 http://www.japan-wolf.org　〔協賛〕伊豆ユネスコクラブ、水木の会

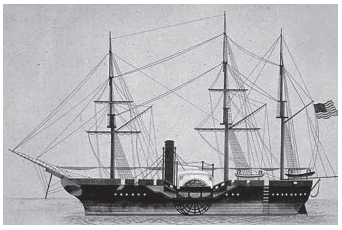
まさか、わたしたちのことを「怖―い、人食いオオカミ」だなんて思っていませんよね？　オオカミって本当は、もともと数が少なくて、臆病者で、滅多に人前に姿を見せない、利口で優しい動物なのです。生態系での私たちの仕事は、食物連鎖上での捕食者兼スカベンジャー。言ってみれば「森番」でしょうか。1 世紀前に日本からいなくなった私たちですが、どうか私たちのことを忘れないでください。いつでも日本に戻ってきて、皆さんと一緒に、昔のように里山から奥山まで、各地の山野で過ごしたいと願っているのです。オオカミのいない自然は、土台や柱が腐った家みたいなもの。とても崩れやすくて危険なのですよ。



《イベント内容》

●**写真・パネル展示**（蔵ギャラリー）

オオカミのいない日本各地・伊豆天城の自然の惨状、オオカミが帰ってきた米国の国立公園イエローストーン、里山で里人とオオカミが共存する西ヨーロッパの現状を写真やデータ等で紹介。南方熊楠お気に入りの屏風絵なども。



●**“オオカミイラスト 40”**（資料展示室）

アーティストたちによるオオカミイラストの展示

●**オオカミ・クラフトコーナー**（和室）

子供たち歓迎！　ペーパー・クラフトに挑戦！

●**書籍展示**（和室）

日米欧オオカミ絵本・写真集・解説書の展示紹介

オオカミに関する
いろいろな質問意見
ウエルカム！

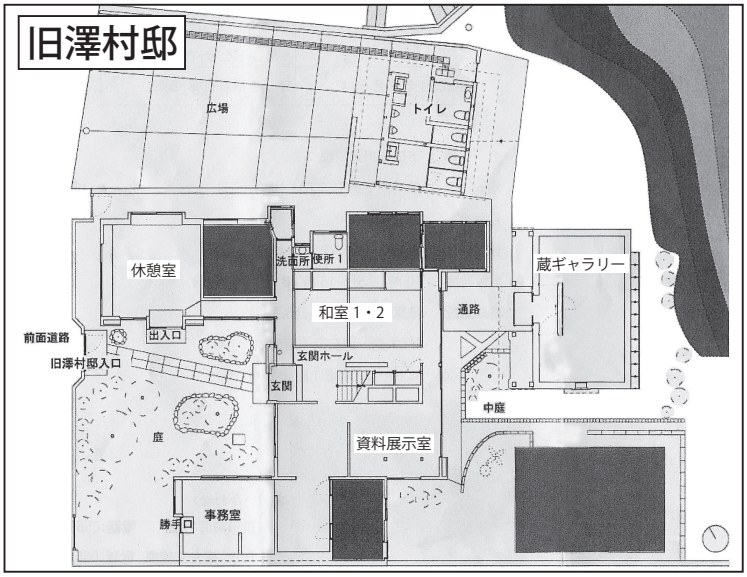
●**オオカミ・トークサロン**（休憩室）

［話し］丸山直樹（日本オオカミ協会会長・東京農工大学名誉教授）各回 15 人まで

① 8 月 25 日（土）13:30 ～ 15:00「オオカミの家族・ナワバリ・一人旅立ち・進化史」

② 8 月 26 日（日）10:30 ～ 11:30「赤頭巾ちゃんはウソ！ 田舎のオオカミ・森のオオカミ」

③ 8 月 26 日（日）13:30 ～ 15:00「オオカミがシカを減らし、カモシカやクマを守る！」



旧澤村邸は、なまこ壁と伊豆石造りの独特な建築様式を用いた歴史的建造物です。

伊豆急下田駅下車徒歩 15 分。あじさい公園下。ペリーロードつきあたり。

【お問合せ先】一般社団法人日本オオカミ協会 静岡県支部　担当：三島秀介
電話：0557-51-1750 または 090-4701-1067　E-mail：hdmishima@yahoo.co.jp